

219680

穗積
八束氏

議
院
法
講
義
第
一

031882-001-6

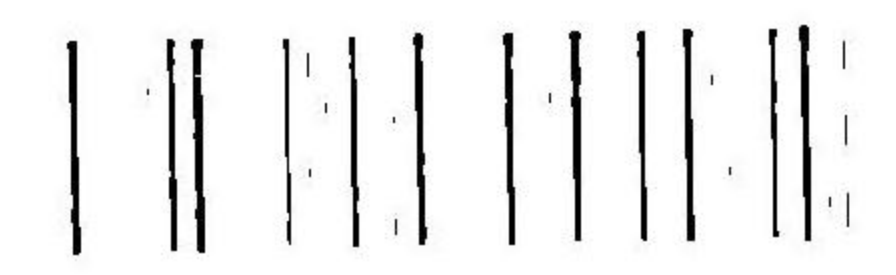
a313-20

議院法講義 第1.2

穗積 八束ノ述

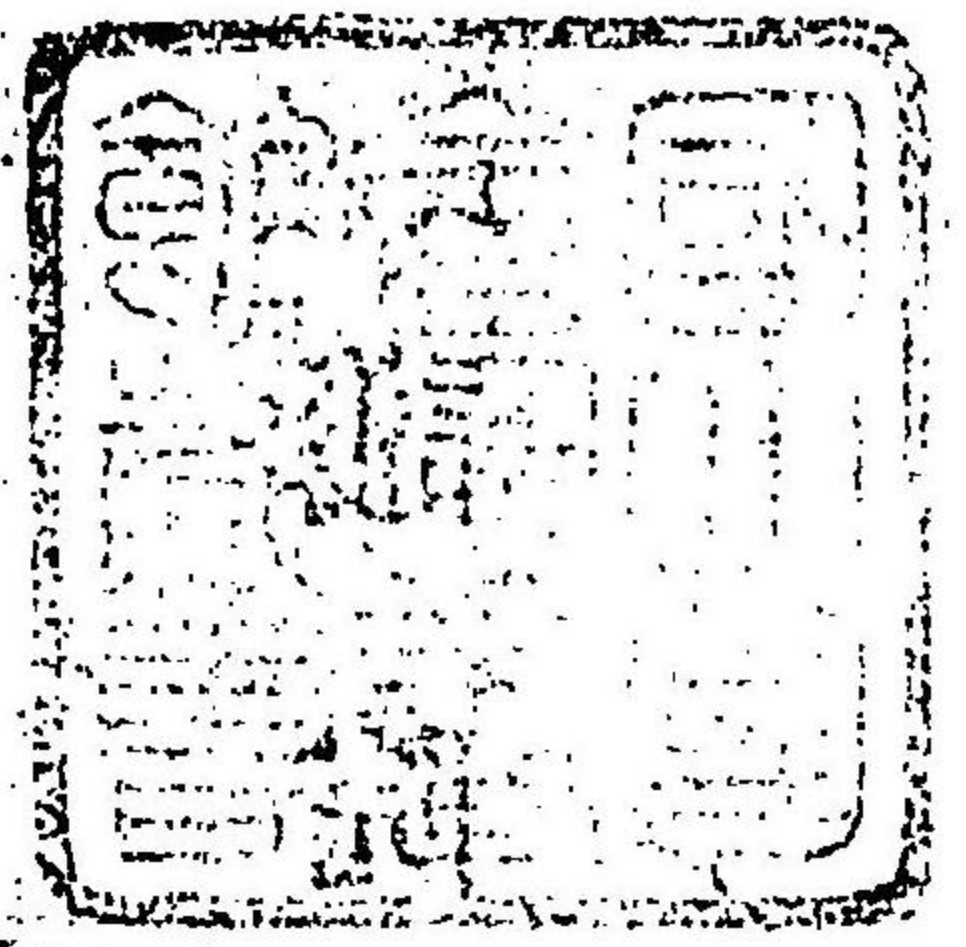
M22

BBF-0046



21
20

313
20



27639

議院法講義

明治二十二年六月十八日

前回ヲ以テ憲法ノ講義ヲ畢リタレハ約ニ遵ヒ本日ヨリ議院法ノ講義ニ取掛ラン

議院法ハ法律ノ形式ヲ以テ發布セラレタルモ其本質ニ至リテハ彼ノ諸官省官制若クハ事務章程ト同ク議院ノ執り行フ可キ職務ノ順序方法ヲ定メタル成規ニ過キスシテ他ノ純然タル法律ノ如ク一個人ト政府トノ間若クハ一個人間ニ於ル權利義務ノ關係ヲ定ム可キ性質ヲ有スルモノニ非サルナリ去レハ之ヲ説クニ當リテハ強テ字句ニ拘泥シテ解釋ヲ與フルヲ主トセス寧ロ實際ニ於テ議院カ議事ヲ行ヒ其他ノ事務ヲ執行スルニハ如何ナル順叙手續ニ依ルカヲ解

説スルヲ必要トス余ノ講義ノ目的モ亦此ニ存スルナリ
 元來議院法ハ帝國議會ノ職權及ヒ議員相互間關係ノ原則ヲ規定セ
 ルモノナリ故ニ各議院ハ本法規定ノ範圍内ニ於テ職務ヲ執リ且其
 職務執行ニ便宜ナル方法ニ從フハ固ヨリ其自由トスル所ナリ蓋シ
 議院法ヲ法律ノ形式ヲ以テ發布シ敢テ議院ノ所定ニ放委セサル理
 由ハ皆ニ議院内部ノ整理ヲ重ニスルニ在ルノミナラス或ル事項ニ
 關シテハ特ニ官府ニ對シ重要ノ關係ヲ有スルモノ有リ又タ議院ノ
 秩序亂雜ニ流レ職權ヲ濫用スルノ虞アリ又議院自身ニ屢其規定
 ヲ變改スルノ不都合アリテ之レヲ防カンニハ豫メ一定不動ノ原則
 ヲ定ムルヲ要スルニ在ルナリ此ノ如ク議院ノ職務ニ關スル規定ノ

原則ヲ定メ豫メ公布式ヲ以テ之ヲ公布スルハ立憲國ノ通例ナルカ
 如シ

議院ノ職務ニ關スル總テノ規則ハ決シテ此議院法ノ各條項ヲ以テ
 盡セリト爲サス議院カ議事ヲ行ヒ其他總テノ事務ヲ處辨シ以テ職
 掌ヲ盡サンニハ議院法ノ外尙ホ事務章程及ヒ細則等ノ設ケ無カル
 可ラス故ニ本法ヲ明カニ會得センニハ漫ニ字句ノ穿鑿ニ汲々セン
 ヨリ寧ロ其實際ノ如何ンヲ精査スルニ如カス然ルニ一旦細則ノ制
 定セラル、有リトモ之ヲ實行シタル後其便不便ヲ試ミルニ非ザレ
 ハ又實際ノ如何ヲ詳カニスルヲ得ス去レハ余カ本法ヲ講説スルノ
 目的ハ只此法律ノ精神ヨリ推シテ實際ノ順序手續ヲ搜リ出スニ在

議院法ヲ法律ノ形式ヲ以テ發布スルハ必シモ各國普通ノ例ニ非ス
或ハ之ヲ議院ノ自主權ニ全委スルノ例ナシトセス又時トシテハ之
ヲ憲法ノ一部ト爲スノ國ナキニ非サレトモ若シ憲法ノ一部ト爲ス
トキハ必要ノ場合ニ於テ之ヲ改正スル毎ニ憲法ヲ改正スルノ不穩
ナル結果ヲ免レス故ニ我國ニ於テ議院法、貴族院令共ニ之ヲ憲法
ト分別セルハ實ニ其當ヲ得タリト謂フ可シ

第一章 帝國議會ノ召集成立及開會

本章ハ衆議院貴族院ノ兩議院ハ毎年如何ナル手續ニ依リ其事務ヲ
開始スルカ其順序手續ヲ規定セルモノナリ

○第一條 帝國議會召集ノ勅諭ハ集會ノ期日ヲ定メ少クト

モ四十日前ニ之ヲ發布スヘシ

帝國議會召集ノ勅諭ハ必ス集會ノ期日四十日以前ニ發布セラル、
モノトス本條ニ「少クトモ」ノ文字アルヲ以テ必ス四十日以上日數
ノ猶豫ヲ與ヘテ召集ノ勅諭ヲ發セラル、ノ意明カナリ斯ク開會ト
勅諭トノ間四十日ヨリ少カラサル日數ヲ與フルヲ要スルハ格段ヲ
ル理由アリテ然ルニ非ス只集會ニ向テ便宜ヲ與フルニ外ナラサル
ノミ已ニ此原則ノ確定セラル、カラハ臨時緊急ノ場合ニ召集セラ
ル、臨時會ニ就テモ亦之ヲ適用セラル、コト當然ナリト思惟ス且
別ニ明文ヲ存セサル限りハ常會臨時會ヲ問ハス如何ナル場合ニ於

テモ本條ノ日數ヲ短縮スルヲ得サルノ精神ナリト信スルナリ
 勅諭發布ト集會期日トノ間ニ與フル日數ノ起算點ハ勅諭ノ日付ニ
 在リテ彼ノ法律實施期日ノ如ク到達日數ノ猶豫ヲ存セシメサルモ
 ノト思考ス

○第二條 議員ハ召集ノ勅諭ニ指定シタル期日ニ於テ各議
 院ノ會堂ニ集會スヘシ

議員召集ノ勅諭ハ某月某日議員ハ各議院ノ會堂ニ集會ス可シトノ
 意ヲ具ヘテ發布セラル、モノトス該勅諭ノ發セラル、ヤ議員ハ之
 ニ應シテ期日マテニ各議院ノ會堂ニ集會スルハ即チ議員ノ義務ナ
 リトス尤モ之ニ應スルト否ナトハ各議員自ラ義務ヲ果スト果ツ、

ルトニ關セリ其召集ニ應スルノ義務ヲ果ツ、ルトキ之ニ加フルノ
 制裁アリヤ如何ン假リニ之レ有リトセハ其ハ如何ナル制裁ナリヤ
 此等ハ總テ他ノ法律ノ規定ニ屬シ到底本條ノ明文ノミヲ以テ明言
 スル能ハサル可シ但議員ハ召集ノ勅諭ニ應ス可キ義務ヲ有スルコ
 トハ本條ニ依リ已ニ判然タリ

「各議院ノ會堂ニ集會スヘシ」ト明記セルカラハ必ス期日マテニ已
 ニ定メラレタル議院ノ會堂ニ參集セサルヲ得ス故ニ假リニ議院ノ
 所在地ヲ東京トセハ東京マテ又他ノ地方トセハ其所在ノ都府マテ
 參集スルヲ以テ足レリトセサルナリ

○第三條 衆議院ノ議長副議長ハ其ノ院ニ於テ各、三名ノ

候補者ヲ選舉セシメ其ノ中ヨリ之ヲ勅任スヘシ

議長副議長ノ勅任セラレ、マテハ書記官長議長ノ職務

ヲ行フヘシ

本條ハ衆議院ノミニ就キ設ケタル規定ナリ

「衆議院ノ議長副議長ハ其ノ院ニ於テ各二名ノ候補者ヲ選舉セシメ」云云ノ明文ノミヲ以テ解スルトキハ議長副議長ノ候補者ハ必シモ議員中ヨリ選舉ス可キモノナルヤ否ヤヲ明カニセザレトモ本條ノ法意ヨリ解シ來ラハ之ヲ議員外ヨリ選舉シ以テ裁可ヲ乞フヲ得スシテ必ス之ヲ議員中ヨリ選舉セサル可カラサルコト明ケシ

此ニ疑ハシキ一點ハ三名ノ候補者ヲ選舉シ其中ノ一人勅任セラレタルトキ其勅任セラレタル者之ヲ辭スルヲ得ルヤ否ヤノ問題是レナリ細則ノ制定セラレサル今日ニ於テハ俄ニ兎角ノ判斷ヲ下シ得サルモ實際上ヨリ推考スルニ已ニ三名ノ候補者ヲ選舉シタル以上ニハ當選者ハ必ス勅任ニ應スルノ決意アリシニ相違ナケレハ彼レヲ強テ其任ニ應セシムルモ敢テ不都合ナカラント思ハル之ニ反シ若シ任ヲ辭スルヲ得トセハ其後ノ處分ニ就キ更ニ一問題ノ起ルヲ免レス即チ甲乙丙三人ノ候補者中甲者勅任セラレタルニ之ヲ辭シタルトキハ他ノ丙乙二人中ノ一人ヲ勅任ス可キカ將タ新ニ三名ノ候補者ヲ選舉シ更ニ其中ノ一人ヲ勅任ス可キカノ疑問ヲ生シ得ヘシ本條ニシテ眞ニ辭職ヲ許スノ法意ナリトセハ余ハ新ニ三名ノ候

補者ヲ選舉セシムルコソ至當ナラメト思考スルナリ

十

「之ヲ勅任スヘシ」トハ恰モ官吏タルノ資格ヲ與フル如ク解セラルルモ此ニ所謂ル勅任トハ貴族院令ノ各條ニ散見スル「勅任セラレタル者」ト云フト其意ヲ同フシ寧ロ勅選ノ意ナリ故ニ本條ノ勅任ナル語ヲ以テ彼ノ勅任、奏任、判任等任官上ノ段階ト同視セサランコトヲ要ス獨逸帝國中ノ或小國ノ例ニ依レハ衆議院ノ議長副議長ハ官吏ナルコト有り又議員外ノ人ヲ以テ之ニ任スルコト有り此場合ニ於テハ我議院法上ニ於テ勅任タル書記官長議長ノ職務ヲ行フ場合ト同ク議長ハ官吏トシテ議場ニ臨ミ議事ヲ監督整理スルモノトス我制ハ則チ之ト同シカラサルニ注意センコトヲ要スルナリ

議長副議長ノ勅任セララル、マテハ書記官長議長ノ職務ヲ行フモノナリ其書記官長ノ職務權限ハ第二章ノ定ムル所トス「勅任セララルマテ」トハ初メテ議會ヲ開設シタルトキ又ハ議會解散セラレタルトキニ限り生スル場合ナリ元來議長副議長ハ必シモ議會ノ會期毎ニ改選セララル可キモノニ非ス衆議院ニ於テハ一タヒ勅任セラレタル以上ハ四年間其職ヲ繼續スルモノナレハ其任期ノ間ハ如何ナル場合ニ於テモ書記官長代テ職務ヲ行フコト無シ若シ任期間議長副議長俱ニ疾病其他ノ故障アルトキハ假議長ヲ選舉シテ議長ノ職務ヲ行ハシムルコトハ後條明記スル所ノ如クナルヲ以テ書記官長ヲシテ議長ノ職務ヲ行ハシムルハ幾ント非常ノ場合ノミニ限り

十一

屢遭遇ス可キニ非サルナリ

○第四條 各議院ハ抽籤法ニ依リ總議員ヲ數部ニ分割シ每部々長一名ヲ部員中ニ於テ互選スヘシ

各議院ハ總議員ヲ數部ニ分割シ其分割シタル各部ニ部長各一名ヲ互選シ以テ事務ノ進捗ニ便スルモノトス總議員ヲ各部ニ分割スルノ制ハ之ヲ外國ノ例ニ徵スルニ其源ハ佛國ニ發シ漸次歐洲諸國ニ傳播セルモノ、如シ蓋シ佛國ハ英國ノ如ク全院委員即チ議員全體ヲ以テ委員タラシムルノ制ナシ故ニ便宜ノ爲メ常ニ總議員ヲ數部ニ分割シテ事ヲ議セシムルノ制ヲ設ケシナリ外國ノ例ニ依レハ各部ノ要ハ議員ノ資格ヲ審案スルコト又ハ相當ニ議員ニ選舉セラレ

シヤ否ヤ其選舉ノ當不當ヲ查定スルコト又ハ委員(常任委員特別委員)ノ選舉ヲ行フコト其他院内ノ取締ヲ議シ會議ヲ通知シ議事日程ヲ定ムル等各種ノ事項ニ就キ豫メ圓滑ナル協議ヲ行ヒ事務ノ便宜ヲ謀ルニ在リ

本條ノ部會ハ下章ニ定ムル諸種ノ委員ト全ク別異ナルモ法律上散テ格段ナル價值ヲ有スルニ非ス之ニ反シ委員會ノ議決ニ至リテハ特種ノ價值ヲ有セリ要スルニ議員ヲ數部ニ分ツハ總議員ノ區々ナル意見議論ヲシテ圓滑ニ協和セシムルノ目的ニ出テ敢テ各部ノ地位ニ向テ時^特ニ重キヲ致セルニ非サルナリ

又外國ノ例ニ依ルニ部長部内ニ書記役員ヲ置クヲ得ルモ其地位ハ

尙ホ部内ノ一員タルニ過キス故ニ部内ニ於テ敢テ特別ナル威嚴權
力ヲ有スルモノニ非サルナリ但此等ノコトハ細則ノ制定ヲ待ツニ
非サレハ明カナリ難ク好シ細則ノ出ツル有リトモ其定ムル所ハ却
テ余ノ考フル所ノ反對ニ出ツルヤモ未タ知ル可ラス然レトモ各國
普通ノ成例ハ即チ大約上ニ陳ヘタル所ノ如キナリ

○第五條 兩議院成立シタル後勅命ヲ以テ帝國議會開會ノ

日ヲ定メ兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ開院式ヲ行フ
ヘシ

「兩議院成立シタルトキ」トハ兩院議員召集ニ應シ議院ニ集會セル
後ト云フノ意味ニシテ要スルニ勅命ヲ以テ帝國議會ヲ開會セシメ

其日ニ於テ兩院議員ヲ貴族院ニ集メ貴族院議長之カ議長ト爲リ開
院式ヲ舉行スルコトヲ定メタルノミ

開院式ハ帝國議會ヲ開會スルノ標準ニシテ強チニ已ニ成立セルモ
ノニ向テ開會ノ式ヲ擧ケシムルニ非サルナリ

議員召集ニ應シ期日ニ於テ議院ノ會堂ニ會合シ開院式ヲ行フタル
後始メテ議長副議長ヲ選舉シ委員ヲ定ムル等總テノ議事ヲ開クモ
ノニシテ恐クハ豫メ議長副議長ヲ選舉シ其他總テノ準備ヲ整備セ
シメ何時議案ノ提出セラル、モ支障ナカラシメタル後ニ開院式ヲ
行フニ非サル可シ是レ余カ外國ノ例ニ依リテ推考スル所ナリ

○第六條 前條ノ場合ニ於テ貴族院議長ハ議長ノ職務ヲ行

兩議院成立シ相會合シテ事ヲ執ルニ當リテハ貴族院議長議長ノ職ヲ行フハ各國普通ノ慣例ナルカ如シ本條ノ場合ニ於テ貴族院議長兩院議長ノ職ヲ行フトモ其位地ニ變更ヲ與フルモノニ非ス只是レ便法ナルノミ

凡ソ兩院ノ議事議決ハ各別ニ行フモノニシテ其各別ノ議事議決ヲ合シテ帝國議會ノ議事議決ト爲スナリ要スルニ兩院相會合スルハ單ニ儀式ニ係リシ時ノミニ限り議案ノ逐條議決ニ就キ此例ヲ用弗ルコト無シ故ニ本條ノ規定アリトモ之カ爲メ兩院議事ノ性質ニ變更ヲ與フルコト無シトス

第二章 議長書記官及經費

本章ハ各議院ノ議長書記官等ノ職權ノ大體及ヒ帝國議會ニ關スル費用ノ如何ンヲ定メタリ

○第七條 各議院ノ議長副議長ハ各一員トス

本條ハ讀テ字ノ如ク兩議院トモニ議長副議長各一員ヲ置クコトヲ示セルニ過キス

○第八條 衆議院ノ議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

衆議院ノ議長副議長ハ其議員中ヨリ選舉スルモノナリ即チ議員ノ資格アルカ故ニ議長ノ地位ヲ有ツモノナレハ若シ議員タルノ資格ニシテ一旦消滅セハ議長タリ副議長タルノ資格ハ共ニ消滅ニ歸ス

ルハ理ノ明カナルモノナリ之ヲ任官ノ例ニ照ラセハ恰モ議員ハ本官ニシテ議長副議長ハ兼官ナルカ如シ但如何ニ便宜ノ爲メナレハトテ議員ノ任期ヨリ短キ任期ヲ以テ議長副議長ヲ改選スルヲ得ス然レトモ任期盡キタル後同一ノ人再選セラル、ハ決シテ妨ケ無シ此事タル別ニ正條ヲ以テ之ヲ示サ、ルモ本條ノ精神ヨリ考察シ來ラハ其意甚タ明瞭ナラン

此ニ一言ヲ付スヘキモノ有リ貴族院ノ議長副議長ハ貴族院令ノ明文ニ依リ議員中ヨリ七箇年ノ任期ヲ以テ勅任セラル、コト明瞭ナリ蓋シ貴族院議員ハ世襲議員終身議員其多數ニ居リ有任期ノ議員其數少シ故ニ若シ衆議院ノ如ク議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ

依ルト爲サハ多數ナル世襲議員終身議員ニシテ一タヒ議長副議長ノ選ニ當リタルトキハ其職ヲ終身ニスルノ不都合ナル結果ヲ免レヌ是レ貴族院令ハ特ニ議長副議長ノ任期ヲ定メテ七箇年ト爲セル所以ナラン

○第九條 衆議院ノ議長副議長辭職又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ闕位トナリタルトキハ繼任者ノ任期ハ仍前任者ノ任期ニ依ル

一タヒ議長若クハ副議長ノ選ニ當リ勅任ニ應シテ就職シタル後自己ノ都合ヨリ其職ヲ解カル、カ又ハ已ムヲ得サル事項ノ發生ニ依リ資格ヲ失ヒタル場合(別ニ強迫ノ明文ナキ以上ハ任期ノ中間ニ

於テ職ヲ辭スルハ敢テ法律ノ妨ケサル所ナリニ於テハ新ニ議員中ヨリ議長若クハ副議長ヲ選舉セサルヲ得ス其新ニ選舉セラレタル者即チ繼任者トシテ上任シタル議長若クハ副議長ノ任期ハ之ヲ四箇年トセス其辭職又ハ資格ヲ失ヒタル前任者ノ殘任期ニ止マルモノトス即チ補缺議員ト同一ノ道理ニ依リ斯クハ定メタルモノナラン

○第十條 各議院ノ議長ハ其議院ノ秩序ヲ保持シ議事ヲ整理シ院外ニ對シ議院ヲ代表ス

本條ハ議長タル者ノ職權ニ於ケル大様ノ方向ヲ示セルナリ

議長ハ議院内ノ秩序ヲ保持スル爲メ議院法及ヒ細則ニ依リ議院全

體ヲ取締リ且議事ヲ整理スルニ於テ十分ナル權力ヲ有セリ其權力ハ各官省長官カ其官衙内ヲ取締ルノ權力ヨリモ一層ニ廣クシテ且大ナリ其ハ下ノ各條項ニ於テ大概ヲ示セルノミナラス猶ホ細則ヲ以テ細密ニ規定セララル可シ

蓋シ議長議院内ニ於テ秩序ヲ保持シ議事ヲ整理スルハ最モ重大ナル職權ナリ然レトモ議院外ニ向テ議院ヲ代表スルノ職權ノ區域ニ至リテハ極メテ狭小ナリ元來議院ハ裁決官府ノ一部ナラサルヲ以テ議院全體トシテ人民ト直接交渉スルヲ得ス又行政官司法官ト直接ニ往復スルヲ得ス若シ必要ナル場合ニ於テハ最上級官府ナル國務大臣トノ間ニ往復スルヲ得ルニ止マルヲ以テ彼ノ府縣知事カ其

下ニ屬スル官府即チ郡長戸長ト往復スル如キコトハ議院ノ一切爲シ得サル所ナリ去レハ院外ニ對シ議院ヲ代表スルノ區域ハ最モ狹小ニシテ僅ニ其議決ヲ政府ニ奉呈シ又ハ上奏、建議ヲ爲シ若クハ人民ヨリ呈出スル請願ヲ受クル等二三ノ場合アルニ過キス但此他ニ議院ヲ代表スル場合ナキニ非サレトモ個ハ是レ社交上ノ代表ナルノミ例ヘハ開院式ニ於テ議長ノ名ヲ以テ議院全體ノ決意ヲ表スルカ如シ此等ハ敢テ法律上ニ關係ヲ有セザルモノトス

○第十一條 議長ハ議會閉會ノ間ニ於テ仍其ノ議院ノ事務ヲ指揮ス

元來帝國議會ハ開會ト同時ニ成立シ閉會ヲ行ハ、忽チニシテ成立シ失フコトハ已ニ憲法ノ講義ニ於テ陳述シタル所ナリ其憲法上ノ主義ハ何レノ所ニ至ルモ決シテ變改セラル、コト無キヤ炳然タリ然レトモ此主義ハ議院ノ立法事務ニ適用スヘクシテ議院内部ノ事務ニ至リテハ必シモ每會之ヲ新ニスルヲ待タズ即チ議院ノ事務ハ每會繼續シテ行ハスンハ實際ニ甚ダシキ支障アルヲ免レサルヲ以テ議長ハ閉會ノ間ニ於テモ依然事務ヲ指揮スルノ職ヲ執ラサルヲ得ス之ニ反シ議員ハ閉會ノ間ニ於テハ一モ事務ニ參與スルノ義務ナク其身全ク自由ナリ

○第十二條 議長ハ常任委員會及特別委員會ニ臨席シ發言スルコトヲ得但シ表決ノ數ニ預カラス

常任委員特別委員會ニ關スル詳細ハ後章其所ニ於テ説明ス可キモ
 今其大體ヲ言ヘハ特別委員會トハ或ル一定ノ事項ヲ調査スル爲メ
 臨時ニ設定セラル、ナ云ヒ常任委員會トハ議會々期ノ初頭ニ於テ
 院内事務ノ分擔ヲ定ムル爲メ設クルモノナ云フ外國ノ例ニ依レハ
 司法、財政、行政、軍事、豫算等恰モ行政部内ノ區別ノ如ク又參議院ノ
 區別ノ如ク之ヲ數部ニ區分シ以テ事務ノ便宜ヲ謀レリ

議長ハ何時タリトモ此等ノ委員會ニ臨席シ參考マテニ其意見ヲ發
 言論述スルノ權利アリ然レトモ決議ニ際シ決意ヲ表スル爲メ可否
 ノ數ニ加ハルヲ得サルモノトス其ハ種々ナル理由アリテ然ルナラ
 ンモ最モ見易キノ理由ハ委員會ノ獨立ヲ左右セサラシムルニ在リ

常任委員特別委員ノ外猶ホ全院委員ナルモノ有リ即チ議員全數カ
 委員ノ資格ヲ以テ事ヲ調査スル爲メニ設クルモノナリ此全院委員
 會ニ於テハ議長ハ表決ニ預カルノ權アルモ本條ハ只常任委員會特
 別委員會ニ就キ特ニ規定セラレ敢テ全院委員ノコトニ及ハサルナ
 リ

○第十三條 各議院ニ於テ議長故障アルトキハ副議長之ヲ
 代理ス

各議院ハ議長ノ外ニ副議長ヲ置クハ本條ニ規定スル代理ノ必要ニ
 出ツルモノニシテ議院法上敢テ特別ナル職權ヲ與フルモノニ非ス
 故ニ議長職ヲ執ルノ間ハ副議長ハ議員ト同一ノ資格ヲ保チテ議席

ニ列シ議長故障アルニ當リ其職ヲ代理スルモノトス

○第十四條 各議院ニ於テ議長副議長俱ニ故障アルトキハ

假議長ヲ選舉シ議長ノ職務ヲ行ハシムヘシ

明文ノ示スカ如ク議長副議長俱ニ故障アルハ事實上免ル可ラサル
數ナレハ若シ實際ニ斯ル場合ヲ生シタルトキハ假議長ヲ選ビテ議
長ノ職ヲ行ハシム此場合ニハ前章ニ規定セル書記官長議長ノ職務
ヲ行フノ規則ヲ適用スルヲ得ス何トナレハ前ハ議長全ク之レ無キ
場合ニ係リ本條ハ議長副議長共ニ備ハリ只ニ故障アリテ一時職ヲ
執ル能ハサル場合ニ過キサレハナリ獨逸帝國議會ニ於テハ議長副
議長ナキカ又ハ未タ選舉セラレサルトキハ議員中職ニ在ルコト最

モ舊キ者假議長ト爲リ若シ又同一ノ人多數アラハ中ニ就キ最モ年
長ノ者之ニ當リ眞ノ議長當選セララル、ニ及ヒテ職ヲ辭スルヲ例ト
ス我制度ニ於テハ書記官長ナル別種ノ者アリテ代リテ議長ノ職務
ヲ行フ場合アレハ彼レトハ稍其趣ヲ異ニセリ聊カ參考マテニ付
説ス

○第十五條 各議院ノ議長副議長ハ任期满限ニ達スルモ後

任者ノ勅任セララル、マテハ仍其ノ職務ヲ繼續スヘシ

議長副議長ノ任期ハ衆議院ニ於テハ四年貴族院ニ於テハ七年トス
而シテ各其任期满チタルトキハ直ニ後任者ノ勅任セララル、ヲ必要
トス故ニ前議長副議長ハ任期满限ニ達スルモ後任者ノ勅任セララル

、マテハ猶ホ其職務ヲ繼續セサル可ラス是レ已ムヲ得サル必要ニ出テタル便法ナリ蓋シ後任者ノ勅任セラレサルハ故障アルノ故ニ非サルヲ以テ前條ヲ適用シテ假議長ヲ選舉スルヲ得ス去レハトテ書記官長ヲシテ代理セシム可キ場合ニモ非ス是レ其職務ヲ繼續セシムル所以ナラン

○第十六條 各議院ニ書記官長一人書記官數人ヲ置ク

書記官長ハ勅任トシ書記官ハ奏任トス

各議院ニ書記官長及書記官ヲ置クハ事務ヲ掌理セシムル爲メニシテ書記官長ハ勅任トシ書記官ハ奏任トセリ

我制度ハ事務官ハ之ヲ議員中ヨリ選ハスシテ純粹ナル政府官吏ヲ以テ之ニ任シ以テ議院一切ノ事務ヲ執リ行ハシム故ニ書記官長ヲ勅任スルハ議長ヲ勅任スルト大ニ其趣ヲ異ニセリ此制度ハ英國ニ行ハル、所ノモノニシテ佛國獨逸ハ必シモ此例ニ則ラス書記官長書記官ハ之ヲ議員中ヨリ選舉シテ其職ニ當ラシムルノ例ハ獨佛兩國ニ於テ往々見ル所ノ例ニシテ此書記官長書記官相集マリテ一ノ議院内監督ノ局部ヲ爲シ議院内ノ事務ヲ執リ行ヒ且院内ニ於テ警察權ヲ行フヲ職トセリ英國ノ習慣ハ獨佛ニ異ナリ書記官ハ幾ント純粹ナル官吏ニシテ全ク議員ノ資格ヲ離レ首トシテ議院ノ事務ヲ整理スルノ職ニ從事スルモノトス我制度ハ大ニ英國ノ制度ニ相似タリ即チ本法ハ議長ハ議員ニシテ書記官長書記官ハ官吏タルナリ

○第十七條 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ書記官ノ事務ヲ
提理シ公文ニ署名ス

書記官ハ議事録及其他ノ文書案ヲ作り事務ヲ掌理ス
書記官ノ外他ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス

本條ハ書記官長及ヒ書記官職務ノ大樣ヲ規定セルモノニシテ此條
ノ範圍内ニ於テ更ニ事務ノ細則ヲ定メ始メテ書記官長書記官ノ職
務及ヒ其順序ノ詳細ヲ明ニスルヲ得ヘキモノトス

議院内部ノ事務ハ總テ議長ノ職權ヲ以テ整理スルモノニシテ書記
官長其他ノ職員ノ運動ハ一ニ議長ノ指揮ニ依ラサル無キナリ去レ
ハ書記官長書記官ハ官吏ナルニ拘ラス常ニ議長ノ指揮ニ從フ可ク

決シテ直接ニ政府ノ命令ヲ奉行スルコト無キナリ

「議事録」トハ法律案其他總テノ議案ニ關スル議事ノ筆記ヲ云フ
「書記官」ノ外他ノ必要ナル職員「トハ院内總テノ事務執行ニ要スル
各種ノ職員ヲ云フ此職員ハ民法上ニ於ル雇人ノ法理ニ依ルカ又ハ
他ノ方法ニ依ルカ兎ニ角議員外ノ人ヲ以テ充ツル所ノ職員ナリ但
各國議院ノ制ニ於テ多少其軀裁ヲ異ニセリ歐洲大陸諸國ニ於テハ
議院ノ職員ハ概テ議員ヲ以テ之ニ任シ議員ハ名譽職トシテ之ヲ擔
任スルヲ例トス但シ「コンミツサート」即チ會計官ノ如キハ特別ナ
ル方法ヲ以テ任用セリ此等各其國情ニ依リ宜キニ從フニ在レハ敢
テ其間ニ可否ノ評論ヲ挿ム可キニ非ス

○第十八條 兩議院ノ經費ハ國庫ヨリ之ヲ支出ス

帝國議會ヲ組成スル所ノ兩議院ハ憲法上ノ一機關タル議事體タルノ職ヲ執ルカ爲メニ成立スルモノニシテ俗説ニ稱スル如ク人民自ラ其意思ヲ發言スル爲メニ成立セルモノニ非ス去レハ帝國議會ハ彼ノ自治體ト大ニ性質ヲ異ニセルハ憲法ノ講義ニ於テ屢々開陳セシ所ノ如シ本條ノ如キハ即チ右ノ原則ヨリ流出スル所ノ一ナリ帝國議會ニシテ若シ自治體ト同ク人民自ラ團結集合シテ自己ノ權利ヲ執行スルモノナラハ其經費ハ自ラ之ヲ支辨スルコト固ヨリ當然ナリ例ヘハ近時新ニ施行セラレタル市町村制ニ依リ組織セル自治體ノ如キ法律上一個人ト同ク權利義務ヲ有シ從テ獨立シテ財產ヲ

有スルヲ以テ其經濟ノ如キモ自ラ處辨スルヲ得ヘシ若シ議會ニシテ之ト同ク權利義務ヲ有シ自ラ財產ヲ有スルヲ得ハ其經濟モ亦自ラ處辨セシメ得ヘキヤ當然ナレトモ如何ニセン議會ハ自治體ニ非サルヲ以テ自ラ財產ヲ有スルコトヲ許サ、ルノミナラス他ノ贈與ヲ受クルコトヲモ許サス加之各議院ニハ諸種ノ建造物其他書籍器具等ノ如キ幾多ノ物件ヲ要スルモ此等ハ總テ行政法ヲ以テ管理スル所ノ一ノ官有物ニ外ナラス然ラハ其經濟ノ如キモ自ラ之ヲ處辨ス可キニ非サルハ言ヲ俟タスシテ明カナリ

第三章 議長副議長及議員歳費

○第十九條 各議院ノ議長ハ歳費トシテ四千圓副議長ハ二

千圓貴族院ノ被選及勅任議員及衆議院ノ議員ハ八百圓ヲ受ケ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ旅費ヲ受ク但シ召集ニ應セサル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

議長副議長及議員ハ歳費ヲ辭スルコトヲ得ス

官吏ニシテ議員タル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

第二十五條ノ場合ニ於テハ第一項歳費ノ外議院ノ定ムル所ニ依リ一日五圓ヨリ多カラサル手當ヲ受ク

本條ハ議長副議長及議員ニ賠償スル爲メ與フ可キ金錢ノ額ヲ定メリ

元來帝國議會ノ議員ハ法律上ノ手續ニ依リ法律上ノ義務ヲ果行スル爲メニ集會スルモノニシテ彼ノ俗説ニ言フ如ク人民各自ノ權利ヲ伸暢スル爲メニ集會スルニ非ス故ニ政府其費用ノ幾分ヲ賠償スルハ相當ナリ但シ此賠償ノ規則ハ官吏ニ俸給ヲ與フルノ規則ト大ニ理由ヲ異ニセリ本條ニ掲クル議員ハ固ト選舉ニ依リ上任スルモノニシテ人民カ徴兵ニ應スルト其法理ヲ同クセリ何トナレハ議員ト爲ルハ一方ニ於テ權利ナルモ一方ニ於テハ國民ノ義務ナレハナリ但其資格ヲ備フルニ種々ナル要件ヲ要スルノミ去レハ議員ト爲ルト兵役ニ服スルトノ區別ハ只法律ノ適用上ニ於ケル差異ニ過キスシテ其實選舉ハ恰モ徴兵ニ於ル抽籤ノ如キモノノミ是レ淡泊ナル法理上ノ見解ナリ

上ニ陳フル如ク歳費ハ徴兵ニ與フル實費ト同一ナレハ議長四千圓副議長二千圓議員八百圓ノ歳費ハ實際不足ナリトモ之ニ向テ苦情ヲ唱フルヲ得ス何トナレハ義務ヲ果行スル者ニ歳費ヲ給與スルハ其果行セル義務ヲ賠償スルニ在ラサレハナリ然ルニ又官吏ノ俸給ハ議員ノ歳費トハ稍趣ヲ異ニセリ俗解者流往々官吏ト爲ルハ國民ノ權利ナリト説ケトモ是レ誤謬ノ説タルヲ免レヌ元來國民ハ官吏ト爲ルノ權利ヲ有セス又義務ヲモ負ハサルナリ政府カ官吏ヲ任スルハ只一個人某ヲシテ事務ヲ執リ行ハシムル爲メノ命令ニ過キスシテ其初メ政府カ若干ノ俸給ヲ以テ某ヲ官吏ニ任センコトヲ言ヒ其之ニ應諾スルニ依リ始メテ官吏タル資格

ヲ得ルモノナリ之ヲ公約ト云ヒテ總テ契約ノ種類ヨリ成立テタルモノトス要スルニ國民タル者當然其他位ニ上ルノ權利義務ヲ有スルト否ラサルトナリ以テ議員ト官吏トノ間ニ存スル區別ヲ了解スルヲ得ヘシ豫メ此區別ヲ知ルニ非サレハ本條ノ法意ヲ會得スルコト能ハサルヲ以テ故ラニ此ニ數言ヲ費シタリ

第二項ハ命令的ノ語詞ヲ用非テ議長副議長及ヒ議員ハ歳費ヲ辭スルヲ得サルコトヲ定メリ貴族院令中被選及勅任議員ニ非サル議員ノ歳費ヲ受ケサル者有リ本項ハ即チ之レト區別アルモノナリ

第三項ハ讀テ字ノ如ク敢テ解説ノ加フ可キ無シ

第四項ノ「第二十五條ノ場合」トハ即チ各議院政府ノ要求ニ依リ又

ハ自己ノ決議ニテ閉會後尙ホ委員ヲ設ケテ議案ノ審査ヲ繼續スル
トキチ云フナリ此場合ニ於テハ議員ハ議員タルノ資格ヲ以テ事ニ
從フノ義務ヲ有セス只政府ノ要求又ハ議院ノ決議ニテ委員トシテ
特別ノ煩勞ト時日トヲ費スモノナレハ議院ノ定ムル所ニ依リ一日
五圓ノ手當ヲ與ヘテ其賠償ノ幾分ニ充ツ是レ理ノ當ニ然ルヘキモ
ノナリ

177

RECEIVED